

18. ガイアナイト (7月7日)

(1) 地域の特徴を活かしたガイアナイトの実施結果

支庁	内容
石狩	ガイアナイトコンサート 場所: サッポロビール博物館 主催: 石狩支庁、共催: サッポロビール(株) 内容: パネル展、ガイアナイト説明、ピアノコンサート
渡島	ガイアナイトinおしまpartII～“七夕”ミニコンサート～ 場所: 渡島支庁1F道民ホール 主催: 渡島支庁 内容: 七夕ミニコンサート、環境ミニトーク、北海道環境宣言PR、参加者からのエコメッセージの紹介
檜山	出前教室「環境学習会」 場所: 江差町立江差小学校、同南が丘小学校 主催: 檜山支庁 内容: 小学校5・6年生を対象とした環境学習会 <学習内容>サミットのこと、地球温暖化のこと、森のこと
後志	ガイアナイトinしりべし ①キャンドルディナーの実施 実施ホテル・レストラン等 ラ シュミネ、小樽バイン、リストラテ トレノ、洋食屋マンジャーレTAKIINAMI、トラットリア・コンフォルターボレ、トラットリア マルコポーロ、小樽グランドホテル、ホテルノルド小樽、オーセントホテル小樽、ヒルトン小樽、ホテル甘露の森 ②ガイアナイト啓発事業 場所: 小樽運河プラザ 主催: 後志支庁、小樽市観光協会 内容: キャンドル点灯、ガイアナイト啓発 ③キャンドルナイトinルスト 場所: 留寿都村赤い靴公演 主催: 留寿都村、村民有志 内容: 七夕短冊、キャンドルアートの作成
空知	ガイアナイトフェスタinそらち 場所: ぶらっとパーク(岩見沢市) 主催: 空知支庁、岩見沢市、新十津川町、岩見沢市観光協会、岩見沢商工会議所、岩見沢市商店街振興組合連合会、岩見沢中心市街地活性化協議会、岩見沢市物産協会、岩見沢若手会 協力: 岩見沢消費者協会、いわみざわ農業協同組合、(有)インタースフィア、ごみのよりよい始末を進める市民会議、サンフロア工業(株)、(有)濱本農場、(株)宝水ワイナリー 内容: 地元企業の環境取組紹介、地元農産品・加工品販売、環境クイズ、エコメッセージボード、ガイアナイトコンサート(教育大岩見沢校)
上川	「家庭でのガイアナイト」PR 場所: 旭川市民文化会館 主催: 東儀秀樹&BAOコンサート旭川実行委員会、上川支庁 内容: コンサート来場者へのガイアナイト参加啓発、環境パネル展
留萌	るもい発ガイアナイトII(主催: 留萌支庁) ①横断幕設置(留萌支庁前歩道橋) ②環境パネル展・フリーマーケット 場所: 留萌支庁道民ホール、駐車場 協力: 留萌市、留萌リサイクル運動の会 内容: 地球温暖化対策の取組紹介、フリーマーケット出店数45店舗 ③手づくりロウソク講習会 場所: 北光中学校 協力: (社)留萌青年会議所、留萌市 内容: 廃食用油等でのロウソクづくり ④七夕飾り 場所: 留萌支庁道民ホール 内容: 地域住民から環境配慮などに関する願い事を短冊で募集、七夕飾りに飾り付け ⑤環境メッセージ集 管内小学生から環境配慮の取組に関する標語を募集、留萌支庁道民ホールに掲示 (募集期間: 6月5日(木)～27日(金)、掲示期間: 7月3日(木)～9日(水)) ⑥まち灯り 場所: 留萌支庁駐車場 協力: まち灯り実行委員会 内容: ガイアナイト版「まち灯り(屋台村、ステージショー)」の実施 ⑦照明施設の消灯 4店舗 ⑧キャンドルディナーの実施(53店舗が参加) ⑨ガイアナイト2008「るもい星空観察会」 主催: 留萌市、場所: 市立留萌図書館

支庁	内容
宗谷	未来の地球環境について語らう夜～ガイアナイトinそうや～ 場所: 宗谷管内24宿泊施設 主催: 宗谷支庁、稚内ホテル旅館業組合、礼文旅館民泊組合 協力: 管内9市町村 内容: 宗谷管内各宿泊施設の休憩室、露天風呂、レストラン等においてキャンドルに照らされた語らいの空間を設置
網走	七夕・ガイアナイトinオホーツク(共催: 網走支庁、北見市) ①環境教育キャンペーン 内容: 「北海道環境宣言」の管内小学校への配布、経木短冊を北見市内の小学生に配布、環境への願いをこめた七夕装飾を奨励、リンケージエコプログラムの紹介・参加呼びかけ ②オホーツクこども環境展 場所: まちきた大通りビル分庁舎5F 内容: 地域資源を活用した環境保護・木育・食育・産消協働等の推進等に資する取組紹介 ③七夕・ガイアナイトの集い 場所: オホーツク木のプラザ 内容: 親子de木育講座(仮称)、キャンドルコンサート、キャンドル点灯
胆振	サミット歓迎ガイアナイトin室蘭 場所: 室蘭市八丁平中央通り、八丁平北公園ほか 主催: 八丁平連合町会、室蘭市、胆振支庁 内容: ・八丁平連合町会では、八丁平中央通りなどにキャンドルを配置・点灯(約200個) ・八丁平北公園では、サミット歓迎のキャンドルアート(「G8 WELCOME」)を作成し、地域の子ども達と一緒に点灯。
日高	キャンドル・コンサートinひだか 場所: 日高支庁道民ホール 主催: 日高支庁、協力: 管内各町、日高教育局 内容: アコースティック・コンサート、環境や未来への願いをつづった短冊飾り、おがくずを使った「おがこあーと」の制作、環境パネル展
十勝	①次の各イベントにおいてガイアナイト告知を実施 十勝大好きフェスティバル、環境を考えるシンポジウム、帯広まちなか歩行者天国、ばんえいナイター競馬 ②ガイアナイトin十勝川温泉 場所: 十勝川温泉各ホテル 主催: 十勝支庁、各ホテル 内容: (第一ホテル)ロビーコンサートの実施 (笹井ホテル)エコ七夕(牛乳パックの短冊を使用)、キャンドルディナーの実施 [かんばの宿/大平原/田園/雨宮館/筒井/親月苑/はにうの宿/緑湯郷/ホリーデーイン十勝川/富士ホテル] 照明をしぼる、ロビー・廊下等でのローソク点灯などの実施
釧路	ガイアナイトin MOO 2nd 場所: 釧路フィッシャーマンズワーフMOO 2階「港の屋台」 主催: 釧路支庁、④釧路河畔開発公社、釧路市 内容: キャンドルディナー(各屋台でのキャンドルディナーの実施)、アコ☆ガイア(アコースティックライブの実施) ※関連企画として、阿寒湖温泉において「千本タイマツ～マリモの護り火～」(NPO法人阿寒観光協会まちづくり推進機構)が開催(照明施設の消灯、ホテル内でのローソク点灯)
根室	ecoキャンドルと星空のもと地球環境を考える夕べ～私たち高校生への第一歩～ 場所: 標津高等学校 主催: 標津高等学校、標津町、根室支庁 内容: ecoキャンドルの作製(町内食用廃油を利用したキャンドル)、ecoキャンドルコンサート(標津高校吹奏楽部によるリコーダー演奏)、星空観察会(雨天のため、スライドを用いた星空・地球環境講演)

ガイアナイト（7月7日）

(2) 参加表明企業一覧

【札幌市】	
1	珈琲淹(コーヒーエン) リファインド
2	(社)北海道ウタリ協会
3	北海道文化団体協議会
4	KDDI(株)北海道総支社
5	ススキノ十字街ビル(株)
6	(株)日本航空札幌支店
7	(株)北海道ジェイ・アール・システム開発
8	アイラン図豊平店
9	岩田地崎建設(株)
10	札幌市時計台
11	北海道漁業協同組合連合会
12	札幌グランドホテル
13	LIVE&Cafe tone
14	豊平製鋼(株)
15	キャリアバンク(株)
16	札幌東急ストア
17	(社)北方圏センター
18	(株)札幌銀行
19	(社)札幌青年会議所
20	(財)札幌国際プラザ
21	(株)エヌ・ティ・ティ・ドコモ北海道
22	(財)北海道環境財団
23	北央信用組合
24	(株)セイコーマート
25	(社)北海道観光振興機構
26	札幌トヨタ自動車(株)
27	札幌信用金庫
28	北海道日野自動車(株)
29	北海道土地改良事業団体連合会
30	(社)北海道看護協会
31	(財)北海道青少年育成協会
32	(株)ゼロ
33	(株)エムオーエー北海道販売オレンジハウス札幌駅北口店
34	サントリー(株) 北海道支社
35	プラネット28(資)
36	(株)アレフ
37	札幌友の会
38	北海道青年団体協議会
39	ガイヤ狸小路店
40	日本赤十字社北海道支部
41	北海道電力(株)
42	(株)テレビ北海道
43	日本たばこ産業(株) 北海道支社
44	札幌通運(株)
45	イオン北海道(株)
46	(株)三越札幌店
47	(株)ジェーシービー北海道支社
48	国土交通省札幌航空交通管理部
49	札幌管区气象台
50	チーム@アースディ北海道
51	ヨガ&ピラティス studio Kaya@Sapporo
52	マックスバリュ北海道(株)
53	(株)ローソン
54	(株)エヌ・ティ・ティ・ドコモ北海道支社
55	(株)つば八
56	北海道コカ・コーラボトリング(株)
57	日本ミルクコミュニティ(株)北海道事業部
58	KDDI(株)コンシューマ北海道支社
59	(株)エルム楽器
60	JAグループ北海道
61	(株)北海道熱供給公社
62	(株)北洋銀行
63	国立大学協会北海道地区支部
64	北海道観光事業(株)(さっぽろテレビ塔)
65	(株)HBA
66	嬉楽
67	札幌パークホテル
68	hofe(ホフ)
69	トヨタL&F札幌(株)
70	雪印乳業(株) 北海道本部
71	(株)4丁目プラザ
72	(株)北海道銀行
73	(株)プリンスホテル 札幌プリンスホテル
74	郵便事業会社北海道支社
75	cafe 札幌豆工房
76	北海道経済産業局
77	札幌ヨン共和国
78	大和ハウス工業(株)札幌支店
79	(株)ダイワサービス札幌支店
80	ダイワラクダ工業(株)
81	大和ハウスインシュアランス(株)
82	OYOYO 大通まち×アートセンター
83	ホシザキ北海道(株)
84	ホテルオークラ札幌
85	サッポロファクトリー・サッポロ都市開発(株)
86	(株)太陽グループ
87	郵便局(株)北海道支社
88	JRタワーホテル日航札幌
89	北海道中央バス(株)

90	北海道教育大学札幌校環境サークル エコ☆プロジェクトZ
91	ダイワロイヤルホテルズ 大和リゾート(株)
92	フルーツケーキファクトリー円山店
93	(社)札幌銀行協会
94	セイコーエプソン(株) 札幌ソフトセンター
95	ワンダードッグ琴似店
96	(株)丸井今井札幌本店
97	(株)パルコ札幌店
98	アルシュビル
99	ぬくもりの宿 ふる川
100	日本発達障害ネットワーク北海道
101	札幌駅総合開発(株)
102	(株)ゆうちょ銀行 札幌支店
103	(株)キープグループ

【石狩支庁】

104	当別町役場
105	新篠津村役場
106	(株)エムオーエー北海道販売オレンジハウス千歳店
107	東方之光・江別
108	(株)コーセー北海道流通センター
109	江別友の会
110	恵庭市役所
111	(株)ダイナックス
112	千歳相互観光バス(株)
113	札幌北広島クラッセホテル

【渡島支庁】

114	福島町役場
115	函館トヨタ自動車(株)
116	五稜郭タワー(株)
117	木古内町
118	NHK函館放送局
119	(株)八晃建設
120	北海道新聞函館支社
121	中塚建設(株)
122	鹿部商工会
123	七飯町役場
124	全国友の会 函館友の会
125	(株)エムオーエー北海道販売オレンジハウス函館店
126	陸上自衛隊函館駐屯地
127	(社)函館青年会議所
128	(社)森青年会議所

【檜山支庁】

129	奥尻町
-----	-----

【後志支庁】

130	(株)エムオーエー北海道販売オレンジハウス小樽店
131	ホテル甘露の森
132	高橋 邦男
133	小樽市
134	倶知安青年会議所
135	余市町役場
136	赤井川村役場
137	有限責任中間法人ニセコ倶知安リゾート協議会
138	MOA倶知安
139	小樽検疫所
140	黒松内町
141	北海道中央バス(株)

【空知支庁】

142	上砂川町
143	(株)砂川青少年会議所
144	日本理化学工業(株)美唄工場
145	月形町
146	(株)エムオーエー北海道販売オレンジハウス岩見沢店
147	歌志内市役所
148	夕張市役所
149	赤平市
150	南幌町
151	北竜町商工会
152	赤平商工会議所
153	あいがん動物を守る「しっぽの会」
154	オレンジハウス滝川店

【空知支庁】

155	和風すなっく栴
156	(株)櫻井組
157	(有)明日萌観光バス
158	(株)山一工業
159	深川市役所
160	芦別市役所
161	滝川市
162	滝川市MOA健康生活ネットワーク
163	芦別市商工振興課観光係内星の降る里・ 芦別キャンドルアート実行委員会
164	(有)インタースフィア
165	北空知地域づくり研究所

【上川支庁】

166	上富良野町
167	上川町
168	ニングルテラス

169	富良野市
170	浜塚建設工業(株)
171	新谷建設(株)
172	(株)只石組
173	(社)士別青年会議所
174	名寄町
175	旭川医科大学
176	富良野市弥生町第2町内会
177	旭川友の会
178	士別市
179	ふらのワインハウス
180	比布町
181	愛別町
182	衆議院議員 今津ひろし事務所
183	風連商工会
184	Winning Zone 212
185	特別養護老人ホームあそか苑・ 認知症高齢者グループホーム無憂苑

【留萌支庁】

186	(株)MOA北海道販売・オレンジハウス留萌店
187	東方之光
188	初山別村
189	幌延町
190	苫前町
191	小平町
192	はぼろ温泉サンセットプラザ
193	(社)留萌青年会議所
194	羽幌町
195	回転寿司たんぱぽ
196	とままえ温泉ふわっと
197	スナック 遊
198	増毛町
199	(株)ツルハ
200	生活協同組合コープ札幌るもい店
201	オーベルジュましけ
202	天塩町役場
203	クラブ・ヴォーグ
204	愛ランド
205	スナックローズ
206	遊雅
207	LUXG
208	アンジュエ
209	(有)鳥谷部商店

【宗谷支庁】

210	MOA稚内
211	(株)富田組
212	北陽工業(株)
213	山本建設(株)
214	稚内市森林組合
215	佐藤産業(株)
216	猿払村役場
217	丹羽建設(株)
218	MOA稚内オレンジハウス
219	枝幸町

【網走支庁】

220	北天の丘あばしり湖 鶴雅リゾート
221	知床プリンスホテル 風なみ季
222	(株)ホテル知床
223	知床グランドホテル北こぶし
224	佐呂間町
225	滝上町役場
226	遠軽町
227	湧別町
228	津別町役場
229	(財)美幌みどりの村振興公社
230	小清水はなこりの宿ユースホテル
231	訓子府町役場
232	美幌町
233	佐呂間町商工会
234	興部町役場
235	清里町森林組合
236	大空町役場
237	清里町
238	斜里町役場
239	HOTEL オホーツク・イン
240	知床花ホテル
241	網走工業(株)
242	ペンション わにの家
243	湧別町宿泊施設しらかば
244	社会福祉法人 小清水町社会福祉協会
245	西興部村
246	上湧別町
247	かに本陣 友愛荘
248	しれとこくらぶ
249	北見市
250	特定非営利活動法人イッシュ移住オホーツク
251	斜里町商工会

【胆振支庁】	
252	厚真町役場
253	豊浦町役場
254	(株)伊達浄化センター
255	夢灯り洞爺湖の会
256	トヨタカローラ室蘭(株)
257	登別市役所
258	(株)エムオーエー北海道販売オレンジハウス室蘭店
259	安平町
260	室蘭友の会
261	室蘭市
262	MOA苫小牧
263	室蘭市八丁平連合町会
264	洞爺湖町
265	須藤建設(株)
266	(株)(GRAZ)グラアツ クラブ・ザ・倶楽部
267	(財)室蘭ルネッサンス
268	ダイナム登別店
269	ホームック(株)若草店
270	登別商工会議所
271	(社)洞爺湖温泉観光協会
272	壮瞥町役場
【日高支庁】	
273	(株)新冠ヒルズ
274	グラン オーベルジュ ホッカイ
275	じゃんけんぼん
276	日高町
277	ホテルローレル
278	新冠町
279	レストレン グルメン亭
280	MOA静内
281	グーフォーディ シエナ
282	浦河・ふくい商店
【十勝支庁】	
283	更別村役場
284	萩原建設工業(株)
285	足寄町
286	タイ料理 中国料理専門店 潮華
287	新得町
288	芽室町
289	広尾町役場
290	清水町役場
291	MOA帯広
292	音更町
293	音更町十勝川温泉観光協会

294	(株)エムオーエー北海道販売帯広店
295	十勝川温泉第一ホテル
296	帯広友の会

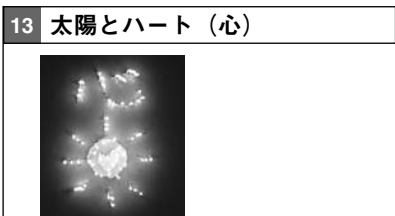
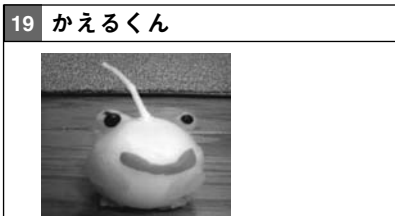
【釧路支庁】	
297	釧路友の会
298	NPO法人阿寒観光協会まちづくり推進機構
299	セブンイレブン釧路星が浦大通1丁目店
300	白糠町

【根室支庁】	
301	清野建設(株)
302	築拓キャンプ場
303	別海町
304	(有)KP Beer Cafe WILL
305	北海道標津高等学校

【道外】	
306	(株)パーバスエコテック
307	(株)五藤光学研究
308	(株)エヌ・ティ・ティ・ドコモ
309	(株)エヌ・ティ・ティ・ドコモ東北
310	(株)エヌ・ティ・ティ・ドコモ東海
311	(株)エヌ・ティ・ティ・ドコモ北陸
312	(株)エヌ・ティ・ティ・ドコモ関西
313	(株)エヌ・ティ・ティ・ドコモ中国
314	(株)エヌ・ティ・ティ・ドコモ中国
315	(株)エヌ・ティ・ティ・ドコモ九州
316	特定非営利活動法人 ひろしま点灯虫の会
317	(株)トラストデント
318	(株)シャーリーテンプル
319	ベスト個別指導学習会
320	日本サイワールド(株)
321	夢古道の湯
322	パナソニックモバイルコミュニケーションズ(株)
323	たのもうや@武道具店
324	グレートダイニング城見
325	セントレジャー舞子ホテル
326	ウエディング石川
327	アベックスホームズ(株)
328	(株)コンフォートダイナー

19.キャンドルアート応募作品一覧

作品番号	00 作品名
	応募作品



23 葉っぱのあかり



31 ホタルランプ「ホタルの光に願いをこめて」



39 ミッキーになれなかったパンダ



24 未来へつなげライトアート



32 ★ほしほしキャンドル★



40 手作り野菜キャンドル



25 天の川に誓う



33 恐竜は、環境の変化で撲滅した。ぼくたちは、環境の変化で絶滅するのかな？



41 キノコ君たち(手作りキノコろう細工)



26 みんな仲良く!



34 クローバー



42 幸せのキノコ(手作りキノコろう細工)



27 心の色は何の色？



35 すみよい大地を子や孫へ



43 輝く銀河～キラキラ・ギャラクシー～



28 キャンドルで夕食



36 ろうそくの明かり晩御飯



44 キャンドルとずっとともだち



29 セタミックスキャンドル



37 廃油の虹色キャンドル



45 静かな夜



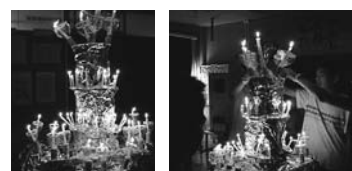
30 分け合いたいな小さい灯り



38 地球



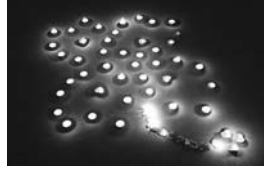
46 火の神の贈り物



47 灯をつなぐ



55 幸せの四葉のクローバー



63 ラベンダーのキャンドル



48 わたしもエコ



56 月夜節電

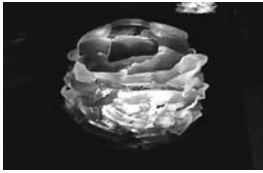


道民会議
特別賞
受賞作品

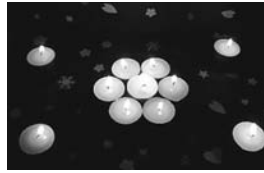
64 夕焼け



49 CANDLE EARTH



57 みんな笑顔で一つの花に



65 なの花キャンドル



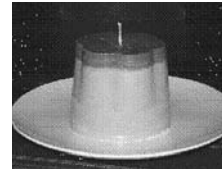
50 廃油からカラーキャンドルでグー!



58 願い



66 ジャンボプリン



51 人にやさしく地球にやさしく



59 ひしもちプリン



(以下26作品全て
軽舞小学校作品)
軽舞小26作品
として審査員
特別賞受賞作品

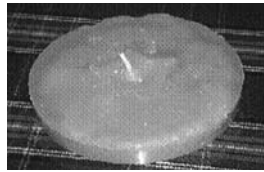
67 お茶



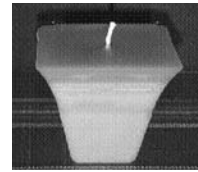
52 みんなでエコ!



60 星の絵お皿



68 タワーキャンドル



53 つなごうライトダウン



61 水の上の花



69 4色ストライプキャンドル



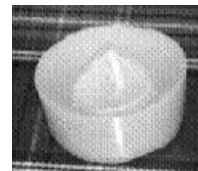
54 温暖化ストップ



62 五色味のメロン



70 雨のしずく



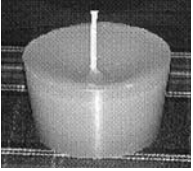
71 オレンジストライプ



79 森と月と太陽キャンドル



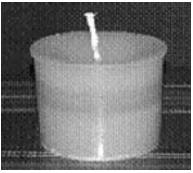
72 トリプルカラーキャンドル



80 宇宙キャンドル



73 4色カラフルキャンドル



81 いちごミルク



74 お化け用キャンドル



82 菜の花畑



75 ロマンチックキャンドル



83 みずうみキャンドル



76 一人用いろいろケーキ



84 SUNSUNキャンドル



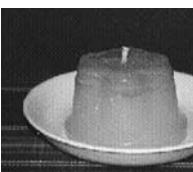
77 カラフルエッグ



85 みんなで作ったキャンドル



78 プッチンプリン



20.北海道洞爺湖サミット推進本部設置要綱

(設置)

第1条 2008年に本道において開催される主要国首脳会議（以下「サミット」という。）の円滑な実施を図るため、北海道洞爺湖サミット推進本部（以下「推進本部」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 推進本部の所掌事項は、次のとおりとする。

- (1) サミットの円滑な実施を図るための総合調整に関すること。
- (2) サミットの受入態勢整備に係る連絡調整に関すること。
- (3) その他サミットの推進に必要な事項に関すること。

(構成)

第3条 推進本部は、本部長、副本部長及び本部員をもって構成する。

- 2 本部長は知事をもって充てる。
- 3 副本部長は副知事をもって充てる。
- 4 本部員は、別表1に掲げる者をもって充てる。

(本部長及び副本部長)

第4条 本部長は、推進本部を代表し、推進本部の事務を総理する。

- 2 副本部長は、本部長を補佐し、本部長に事故あるとき、又は本部長が欠けたときは、別表2に定める順序によりその職務を代理する。

(会議)

第5条 推進本部の会議は、本部長が招集し、主宰する。

(幹事)

第6条 本部に幹事をおく。

- 2 幹事は、別表3に掲げる職にあるものをもって充てる。
- 3 幹事は、幹事会を構成し、本部の所掌事項に関する連絡調整に当たる。
- 4 幹事会の会議は、北海道洞爺湖サミット推進局（以下「サミット推進局」という。）参事が招集し、主宰する。

(部会)

第7条 本部員は、サミット推進体制を確立するため、各部局等に部会を設置することができる。

(庶務)

第8条 推進本部の庶務は、サミット推進局において処理する。

(その他)

第9条 この要綱に定めるもののほか、推進本部の運営に必要な事項は、本部長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成19年 6月18日から施行する。

附 則

この要綱は、平成19年 7月 3日から施行する。

別表1（第3条関係）

総務部長、職員監、危機管理監、知事政策部長、知事政策部知事室長、知事政策部参事監、企画振興部長、環境生活部長、保健福祉部長、経済部長、経済部参事監、農政部長、農政部参事監、水産林務部長、建設部長、出納局長、石狩支庁長、渡島支庁長、檜山支庁長、後志支庁長、空知支庁長、上川支庁長、留萌支庁長、宗谷支庁長、網走支庁長、胆振支庁長、日高支庁長、十勝支庁長、釧路支庁長、根室支庁長、東京事務所長、教育庁教育次長、警察本部警備部長、議会事務局長、企業局長

別表2（4条関係）

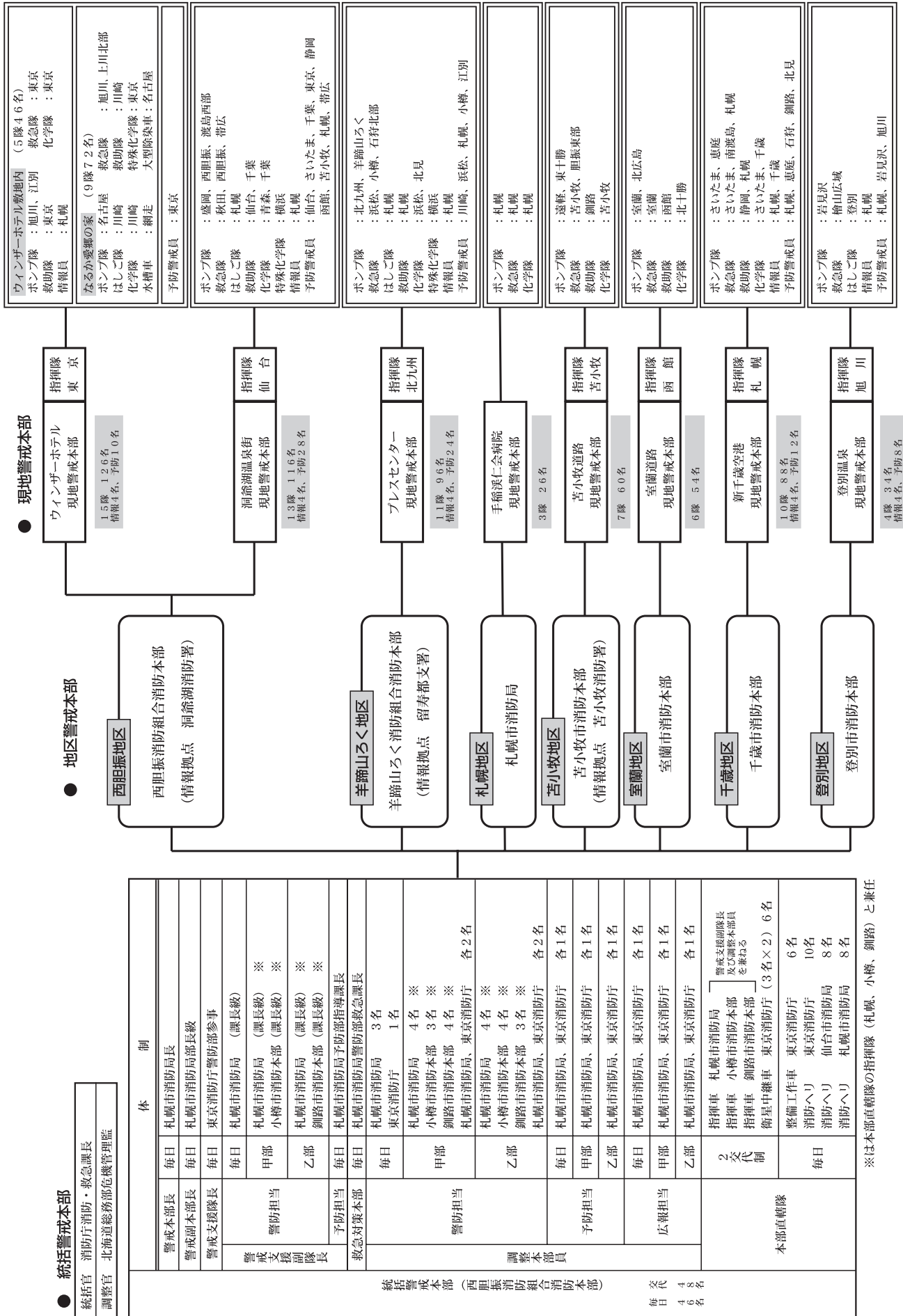
1	副知事	山本 邦彦
2	副知事	嵐田 昇
3	副知事	近藤 光雄

別表3（第6条関係）

所 属	幹 事
総務部	総務課長
〃	防災消防課長
職員監	参 事
知事政策部	参 事
企画振興部	総務課長
環境生活部	総務課長
保健福祉部	総務課長
経済部	総務課参事
農政部	農政課長
水産林務部	総務課長
建設部	建設政策課長
出納局	総務課長
各支庁	地域振興部長
東京事務所	行政課長
教育庁	教育政策課長
警察本部	サミット対策課長
議会事務局	総務課長
企業局	総務課長

(注) 複数の参事がおかれている場合は、筆頭参事とする。

21.北海道洞爺湖サミット消防特別警戒系統図



22.北海道洞爺湖サミットにおける道内及び道外応援体制について

1 北海道洞爺湖サミットにおける警防部隊数

警防部隊総数	77 隊 694 人	
道内対応可能分	46 隊 408 人	道外応援要請分 31 隊 286 人

※統括警戒本部人員30名（道外12名、道内18名）含む

2 北海道洞爺湖サミットにおける予防要員人員

予防要員	82 人	
道内対応可能分	52 人	道外応援要請分 30 人

※地元予防人員16名も含む

3 道外応援部隊等内訳

	必要部隊数	青森地域	秋田市	盛岡地区	仙台市	さいたま市	千葉市	東京消防庁	横浜市	川崎市	浜松市	静岡市	名古屋	北九州市
指揮 (8)	3				1			1						1
ポンプ (10)	4			1		1							1	1
救急 (6)	4		1			1		1			1			
はしご (10)	1									1				
救助 (10)	5				1		1	1		1		1		
化学 (10)	6	1				1	1	1		1	1			
特殊化学 (10)	3							1	2					
大型水槽 (4)	0													
大型除染 (6)	1												1	
整備工作 (6)	1							1						
衛星中継車 (6)	1							1						
ヘリ (8,10)	2				1			1						
台数	31	1	1	1	3	3	2	8	2	3	2	1	2	2
警防人員	274	10	6	10	26	26	20	66	20	30	16	10	16	18
予防人員	30				3	3	3	12		3	3	3		
統括警戒本部要員	12							12						
道外13消防本部計	316	10	6	10	29	29	23	90	20	33	19	13	16	18

4 道内応援部隊等内訳

	必要部隊数	函館市	南渡島	渡島西部	檜山広域	室蘭市	登別市	苫小牧市	西胆振	胆振東部	札幌市	小樽市	江別市	千歳市	北広島市	恵庭市	石狩北部	岩見沢地区	羊蹄山ろく	旭川市	上川北部	釧路市	北見地区	網走地区	遠軽地区	帯広市	北十勝	東十勝
指揮 (8・10)	7	1					1			2	1									1	1							
ポンプ (10)	12		1		1		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			1				1
救急 (6)	13		1		1	1	1	1	1	2	1						1			1	1					1		
はしご (10)	3					1				2																		
救助 (10)	4	1								2												1						
化学 (10)	5						1			1			1										1					1
特殊化学 (10)	0																											
大型水槽 (4)	1																							1				
大型除染 (6)	0																											
整備工作 (6)	0																											
衛星中継車 (6)	0																											
ヘリ (8)	1									1																		
台数	46	2	1	1	1	2	1	3	2	1	11	2	1	1	1	1	1	1	1	3	1	2	1	1	1	1	1	1
警防人員	390	18	6	10	6	16	10	24	16	6	100	14	10	10	10	10	6	10	10	24	6	18	10	4	10	6	10	10
予防人員	52	2					2	2	6		16	2	2	2		1	1	2	6	2		2	2			2		
情報員	20								2		16			2														
統括警戒本部要員	18										18																	
道内27消防本部計	480	20	6	10	6	16	12	26	24	6	150	16	12	14	10	11	7	12	16	26	6	20	12	4	10	8	10	10

23.北海道洞爺湖サミット保健医療対策部会設置要綱

(設置)

第1条 2008年に本道において開催される北海道洞爺湖サミット（以下「サミット」という。）の円滑な実施に向け、保健医療対策の推進体制及び実施体制の確立を図るため、北海道洞爺湖サミット推進本部設置要綱第7条に基づき、北海道洞爺湖サミット推進本部の下に保健医療対策部会（以下「対策部会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 対策部会の所掌事項は、次のとおりとする。

- (1) サミットの実施に向けた保健医療対策の推進体制及び実施体制を確立するための総合調整に関すること。
- (2) 保健医療対策の推進体制及び実施体制の確立に係る連絡調整に関すること。
- (3) その他保健医療対策の推進体制及び実施体制の確立に必要な事項に関すること。

(構成)

第3条 対策部会内には必要な対策班を組織し、対策部会は部会長、副部会長及び対策班長をもって構成する。

- 2 部会長は、保健福祉部長をもって充てる。
- 3 副部会長は、保健福祉部次長、保健医療局長、技監及び環境生活部環境局長をもって充てる。
- 4 対策班長は、別表1に掲げる担当課長をもって充てる。
- 5 対策班の所掌業務は、別表2に掲げるとおりとする。
- 6 対策班の組織構成は、必要に応じて変更（追加）できることとする。

(会議)

第4条 対策部会の会議は、部会長が招集し、主催する。

なお、会議には、必要に応じて対策班担当課参事及び医療参事の出席を求めることができることとする。

(庶務)

第5条 対策部会の庶務は、保健福祉部総務課において処理する。

(その他)

第6条 この要綱に定めるもののほか、対策部会の運営に必要な事項は、部会長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成19年10月 9日から施行する。

この要綱は、平成20年 7月 1日から施行する。

別表1（第3条関係）

対 策 班	所 属	対策班長
総務班	保健福祉部 総務課	総務課長
救急医療対策班	〃 保健医療局 医療政策課	医療政策課長
感染症対策班	〃 保健医療局 健康推進課	健康推進課長
食品衛生対策班	〃 保健医療局 食品衛生課	食品衛生課長
血液・医薬品対策班	〃 保健医療局 医務薬務課	医務薬務課長
水道対策班	環境生活部 環境局 環境保全課	環境保全課長

別表1（第3条関係）

対 策 班	所 掌 業 務
総務班	・対策部会の庶務に関すること。
	・推進本部及び各対策班等との連絡調整に関すること。
救急医療対策班	・救急医療体制の整備に関すること。
感染症対策班	・感染症の発生予防や拡大防止に関すること。
食品衛生対策班	・食中毒の発生予防や拡大防止に関すること。
	・宿泊施設の衛生等の確保に関すること。
血液・医薬品対策班	・血液及び道有医薬品等の確保、毒劇物の管理状況の確認等に関すること。
水道対策班	・水道のライフライン確保に関すること。

24.知事臨時記者会見記録

日 時／平成19年4月23日(月)

17:30～17:46

場 所／道庁記者会見室

記者数／33名(テレビカメラ6台)

【知事からの話題】

(知 事)

今日、夕方、総理からお電話をいただきまして、来年の日本で行われますサミットにつきまして、北海道で開催をしたいのでよろしくということでした。

私からは誘致をさせていただいた中で、今日こうやってお話をいただいたことは大変うれしいと地元をあげて、きちっとした準備をしてまいりたいというお答えを差し上げたところです。

来年、北海道でサミットの首脳会議が開催されることが本決まりになったところでございますので、私ども北海道として、素晴らしいサミットにするために頑張りたいと思っております。

今回のサミットに向けての誘致活動自身は、他の地域との比較においては遅いタイミングからの誘致活動で、私が北海道の推進協議会の方々と東京で具体的に誘致活動をさせていただいたのも、たった2回でありました。パンフレットなども手作りで、コンパクトサミットの提案をさせていただいたわけですが、今回そのことが決定することによって、何よりも私たちが誇りと思っておりますこの素晴らしい環境の北海道を世界にアピールをしていきたいと思うと同時に、北方領土問題を抱えております北海道でございますので、今回の首脳会議の開催ということが、この北方領土問題解決に向けての大きなきっかけになることも期待するところであります。

そして、私は何よりも、私たち北海道の未来を担っていく本道の子どもたちにとって、夢と希望が未来につながるような、思い出に残る有意義な、そういったサミットになるように地元として頑張りたいと思っております。

また、警備についても、最近は首脳会議の極めて重要な点になってきているところでございます。世界のまさに主要国の首脳が北海道に来られるわけでありまして、一般的に言いますと、警備情勢は極めて厳しいものであろうと承知をするわけでありまして、しかしながら、こういった点につきましても万全を期してまいりたいということを含めて、地元としてしっかり準備をしていくことを国と連携をしながら対処してまいりたいと思っております。

【記者からの質問】

(記 者)

もう一度、総理とのやりとりの部分を詳しくどのようにあったのか、その他の閣僚会合のお話があったのかどうか、今後の課題というか、そういったところについてお聞かせください。

(知 事)

総理からは(午後)4時23分に私のところに電話がありました。「来年の主要国首脳会議の開催場所を北海道洞爺湖町にすることに決定をいたしました。北海道の美しい自然環境の中で環境をテーマとしてサミットを行うことについては、極めて有意義だと思います。それから政府として地方重視の姿勢を示しました。」というような話が総理からあったところでございます。私からは先程申しましたとおり「私も北海道として誘致をやらせていただいていた中で、大変、総理の今の話を歓迎いたします。地元として万全を期して準備を進めてまいりたいと思います。」とお答えをいたしましたところでございます。それから他の閣僚会合については、何ら言及がございませんでしたので、あえてこちらからは確認はさせていただきますませんでした。それから三つ目、

今後の課題ということでございますが、今、決定したばかりでございますので、これから様々な点について、政府と議論を進めていく必要があるわけでございますけれど、まず、北海道として体制を整備することが必要だと思っております、今は知事政策部の中にチームを組んでやっているわけでありまして、うまく人事が出来れば、5月早々にも部長級の人間をヘッドとした新しい受け入れの窓口となる組織をつくり対処していきたいと、このように思っているところでございます。さらに、プレスセンターの場所をどうするか、あるいはメイン会場はウィンザーで決まりですけれど、関係の方々、マスコミの方々も含めて、どういう宿泊を想定するのかなど、まだまだ詰めなければならない点が多々あるわけでございます。そういった点について、これから1年間ということで限られた時間でございますので、しっかりと政府サイドと調整をしながら準備を進めてまいりたいと思っているところでございます。決めなければならないことの大きなこととしては、先週の記者会見の場所でも申しました夫人プログラムとしてはどういった形でやるのか、といったことなどもあるかと思ひますし、それから先程申しました警備につきましても、もちろん国の事業でございますので、国が中心にやられることではあります、地元警察職員も含めて、我々全体としてしっかりと準備をして、北海道で開催して良かったと思われるような、そういったサミットにしてまいりたいと思っております。

(記者)

北海道でサミット開催が決まったということで、おのずと地元負担の問題は避けられないと思ひます。夕張の問題を抱え、北海道の財政支出、今後、いろいろな部分で予想される中で、国に対する財政支援なども含めまして、地元が許容できる財政負担については、どのようにお考えですか。

(知事)

今申しましたとおりプレスセンターをどこに置くか、どのくらいの規模にするかも含めて、まだまだ詰めなければならないところがたくさんございますので、サミット全体の事業規模がどれくらいになるのかはまだ見えない部分がございます。しかしながら、道の財政状況は政府がよくご存じの状況でありますし、沖縄サミットとの比較において、コンパクトなサミット、既存施設を十分に活用しつつ、またイベント的なことを極力抑えて、実質的な効率的な議論をしていただくというコンセプトで提案いたしており、そういったことをご理解いただいた上で決定をいただいたと理解をいたしておりますので、私どもの考え方をこれからも政府にお伝えをしながら、地元負担を最小限にとどめる、このことはしっかりと果たしてまいりたいと思ひています。

(記者)

今の点に関連しまして地元負担なんですが、知事、誘致の以前からだいぶ気にされていたかと思うのですが、この点について、具体的に政府の陳情の中でどなたかにどういふお話がされたのか、財政負担の軽減ということをおっしゃっていらっしゃるのか、その点を確認させていただきたかったのと、あともう一点なんですが、後出しじゃんけんということで、もう既に他の知事から恨めしいという声もでていたのですが、他の地域に対して一言ありましたらお願いします。

(知事)

東京へのアプローチというか、そもそも提案自身が3月初めからでありますので、そんなに機会はないわけではあります、1回目に参りました時も、そういった考え方は政府サイドにはお伝えはいたしております。

それから後出しじゃんけんね。そのことは、マスコミを通じて理解はさせていただいておりますし、また、大阪府の知事は、私の30年来の友人というか先輩でもありまして、お電話で正式提案をさせていただき直前にご連絡を申し上げた経緯はございます。

そういった意味では、提案が遅くなったことについて大変申し訳ないという思いは持っているところでございますが、これから知事会等の場でお会いすることもあるでしょうし、いろんな形で、地域間で何かフリクシ

ョン（摩擦）が残らないような形で対処してまいりたいと思っております。

(記者)

すいません。1回目の財政負担の件で伝えた際に政府側から何かお話、分かりましたなり何なりということはあるのでしょうか。

(知事)

聞き置くということでありましたね。

(記者)

財政のことでもうちょっと具体的なお話を伺いたいのですが、まだ、お話になれないのかもしれないのですが、大体どのくらいの規模を考えていて、道の負担はどのくらいになるのかということは、道民としてはどうしても知りたいところなのですが、もし具体的なイメージがあったら教えていただけますか。

(知事)

ちょっと、それはよく分からないですね。沖縄のケースについては、過去のことですので、情報はきちりのご提示を申し上げることが出来るわけではありますが、その沖縄の時と比べますと既存施設を活用することは明らかでありますし、それからプレスセンターをどのように考えるかがこれからの議論の大きなポイントになってくるところだと思っております。

警備関係につきましては、私は専門家ではございませんが、沖縄という日本の最南端に位置する島を中心とした地域でやったのと、今回、北の北海道でやるのとどれくらい違いがあるのか、これはプロの話だと思えますが、この部分は、基本的には沖縄で想定されたぐらいで対処出来るのかなと、よく分かりませんが。

などなどですね、まだまだ不確定部分はありますが、私といたしましては、以前もこういった場で申し上げたと思いますが、いろんな経済効果が期待される中で、そういったこととの関係において、道民のご理解が得られる範囲内の地元負担に抑えることは、明確に道民の方々に申し上げたいと思っております。

(記者)

今日、総理から直接電話があったとのことですが、その前、どのようなお気持ちでその電話を待っていたかということと、電話で総理から決まりましたとお話があった時の率直な感想を伺いたいんですが。

(知事)

総理からお電話をいただいた時には、副知事と事務的な今後のいろいろなことについて打ち合わせをしていたところでした。

総理からお電話をいただいて、決めましたということをおっしゃっていただいたときには、ここまで誘致をしてまいりましたので正直うれしいと思えました。

しかしながら実際考えてみますと、まさに国際的なイベントとしては最も重要な位置付けのものでございますので、そういったことを北海道で開催することの重みというか、責任の重大さを思いまして、気が引き締まったのも事実でございます。

25.知事定例記者会見記録

日時／平成20年7月9日（水）18:02-18:38

場所／道庁記者会見室

記者数／26名（テレビカメラ3台）

【知事からの話題】

- 1 北海道洞爺湖サミットを終えて
- 2 ポストサミットについて

【記者からの質問】

- 1 サミットで印象に残ったシーンやエピソード
- 2 サミットでのNGOの活動について
- 3 サミットで使用された食材について
- 4 環境総合展の今後の開催について

【知事からの話題】

それでは私からお話をさせていただきます。

〔北海道洞爺湖サミットを終えて〕

北海道洞爺湖サミットを終えてということでございます。先ほど午後、福田総理の議長総括の記者会見が行われていたわけでありますが、これをもって北海道洞爺湖サミットの全日程が終了をいたしました。

今回のサミットはアウトリーチの14か国を含めて、22か国が参加をするという最大規模のサミットになったわけでございます。

まずは、大きな混乱もなく、無事に終了したということを経験したことを地元の知事として、安堵したということを経験したことをまず申し上げます。

サミットの成功に向けまして、地元としてできる限りのことをやろうということで、民間の皆様方と道民会議を立ち上げ、そこを中心に道内外の多くの方々のご支援をいただきながら、ここまで懸命に取り組んできたわけでありまして、

改めて、関係の皆様方のご支援、ご協力に心から感謝を申し上げたいと思う次第でございます。

また一方で道民市民の皆様方には、サミット開催、特に7月に迫ってから特にでございますが、各地で交通規制などが実施されまして、大変に多くの方々にご不便をおかけせざるを得なかったわけでございます。

マイカーの乗り入れの自粛、あるいは事業用の車両の運行調整など本当にご迷惑をおかけせざるを得なかったということ、そしてそういったことに対して、ご協力をいただいた皆様方に対して心から御礼を申し上げたいと思う次第であります。

全国からも多くの方々が協力のために来ていただきました、警備関係、各都府県の警察本部、警視庁をはじめとして来ていただきましたし、そして医療でも多くの方々に来ていただいたわけでありまして、ご協力いただいた皆様方に心から感謝申し上げます。

今回のサミットの中身、それ自身の評価については、私自身がするよりもまさに今日いらっしゃるマスコミの方々、国民の方々がかかるということが、素直な考え方かなと思うわけでありまして、地球環境問題、特に京都議定書ののち、どういった方向に世界が動いていくかということ、その枠組みの議論、あるいは食料の問題、原油高騰への対策、そして、アフリカの国々もお招きしてのアフリカの自立に向けての支援の問題など、大変に多くの世界の抱える重要なテーマが話し合いをされたわけでありまして、

それから一方で、道民会議を中心として取り組んでまいりました北海道の情報発信につきまして、とりわけマスコミ関係の皆様にもご協力をいただきまして、留寿都のIMC国際メディアセンターの中に北海道情報館を設定しましたし、また、「Yokoso! HOKKAIDO PASS」というものをご用意をいただいて、道内をマスコミの方々に自由に回っていただくといういろんな取組もしたわけでありまして、こういったことの成果もこれが

ら少しずつ出てくるのかなと思っております。

北海道情報館は、9日今日の16時現在の利用者として私どもが確認させていただいております人数が、4,150人ということでございます。これから、また、しばらく増えることもあろうかと思いますが、そんなことで今段階では評価をいたしております。

私自身もおかげさまを持ちまして、忙しく動かさせていただきました。

開催前日の6日ではありますが、空港にお迎えを申し上げるなどさせていただきましたけれども、ブッシュ大統領ご夫妻は昼に着かれました。地元子ども達、小学生子ども達に花束を用意してお迎えをいたしましたけれども、子ども達の出迎えを本当にうれしそうに一緒に記念写真を撮っておられたところでございます。

私もお迎えに行ったということもあって、小さい小物入れをブッシュ大統領から頂戴いたしました。ここに持ってきたんですよ。こういうものなのですけれども。今後ろにそれ以外の多くの皆様方からいただいたものを置いてありますが、知事公館の方で展示をさせていただき、道民の皆様方にもぜひご覧をいただきたいこのように思っております。

ちなみに今日午前中に洞爺湖畔で、ブッシュ大統領夫人とは記念植樹で一緒しましたので、直接私から御礼を申し上げたところでございます。

それから、さかのぼりますが6日は、福田総理ご夫妻にも北海道情報館をご覧いただきました。総理は、試食コーナーで新得の十勝の方のナチュラルチーズのサクラの葉っぱを用いたチーズを試食されて、大変に美味しいと絶賛をされたそうであります。

それで、急遽その日行われたブッシュ大統領との晩餐会に使いたいということで、提供させていただいたところであります。ちょっとハプニングでありましたが、改めて北海道の食というものに私ども誇りと自信をもったということであります。余市のおいしいサクランボもありましたね。私も何粒かいただきましたが、とってもおいしかったです。

7日のサミットの初日はカナダのハーバー首相ご夫妻を伊達市にご案内をさせていただきました。伊達市姉妹都市提携をしておられるカナダのブリティッシュ・コロンビア州のレイクカウチン町との共同開催の子ども環境サミットに出席をされたという形でありました。

実はこの道内市町村とのG8首脳の方々との交流、いわゆる絆プロジェクトと名付けて、20の市町村から交流のプログラムの提案があったわけでありまして、私も何回か各国大使館にお邪魔をして、実現に向けて協力要請をしたわけでありまして、結果的にはカナダのハーバー首相ご夫妻の件しか実現できなかったというのは、残念だったなというところでありまして、サミット本体のスケジュールが厳しかったことがあるかと思っておりますけれども、22か国の首脳の方々、ご夫人も含めて、ご夫人が来られないところもあったわけでありまして、来られたわけでありまして、その意味では市町村との交流が、いろんな話が出ては消え、出ては消えというところがあったわけでありまして、必ずしも十分ではなかったなというのは、非常に残念であります。

やはり、国々の大使館の方々も前向きに検討しておられたというのは、私自身直接事前に交渉している中で、実感をいたしていたところでありまして、やはり8年前と違って、セキュリティということに対する意識が大変高まってきたということ等、いろいろな中でこういった様な形になったかなと思っております。

ただ、アウトリーチの国の首脳の皆様方、あるいは、奥様との関係ではいくつか北海道の地元に行っていたということも実現していたようでありまして、今日は午前中にインドの首脳のご夫人が富良野まで行かれたそうでありまして、ラベンダーをはじめ北海道の美しい花をご覧になると同時に地元とのふれあい交流もあったのではないかとこのように考えているところであります。

また、絆プロジェクトにつきましては、提案市町村の熱意を受けまして、フランス、ドイツ、イギリスにつきましては、駐日大使による視察ということが行われたところであります。

さて8日ではありますが、ウィンザーホテルの外の所でG8の首脳の皆様方にクリーンラーチの植樹を行っていただいたところであります。

二酸化炭素の吸収率が、旧来の品種よりも20%高いというようなことのご説明をさせていただきました。

環境サミットと言われております、今回の北海道洞爺湖サミットの象徴として大きく育ち、たくさんのCO₂を吸収してくれることを期待をいたしているところでございます。一方でこの日、配偶者の皆様方は、北のまるしえ、これは真狩村の方であります、ご視察をいただいて、昼食はマッカーリーナで取られたわけでありませう。

釣部議長にお迎えをいただいたところであります。大変おいしかったという評価を受け、私もうれしく思ったところであります。

その後、真狩村から留寿都の方にお移りいただいて、北海道情報館を私がお案内をさせていただきました。流水に触れていただき、地球温暖化が確実に北海道でも進んでいるというようなご説明に、興味深くうなずいておられました。また美唄の方で雪を活用した貯蔵によって、開花時期をずらして、今桜が満開になっており、この桜の花のご説明を申し上げたところ大変興味深くご覧いただいております。また、アイヌ文化ゾーンではアイヌの衣装をそれぞれ着ていただきまして、にっこりと笑って、記念撮影にも応じておられました。

昨日の夜はアウトリーチ国・国際機関歓迎レセプションの開催を札幌でさせていただきました。南アフリカのムベキ大統領、中国の胡錦濤主席、韓国の李明博（イ・ミョンバク）大統領、国連の潘基文（パン・ギムン）事務総長、経済協力開発機構（OECD）のグリア事務総長、国際エネルギー機関（IEA）の田中事務局長などをお招きをいたしまして、さまざまなお話をさせていただき、北海道についてもご紹介をする機会を得られたことを良かったと思っております。外務大臣からも来賓としてご祝辞を頂戴いたしました。

本日最終日、私自身は、配偶者プログラムの最後のメニューでございませう記念植樹を洞爺湖畔の噴火記念公園において、実施をさせていただきました。

ご夫人皆様方お疲れかと思いましたが、お疲れでされなかつたEUの委員長の夫人以外はこちらにいらっしやっておられる方は皆さん、ご参加をいただいて、地元の子ども達を手伝ってくれる中で、植樹をさせていただきました。

それぞれのご夫人方、大変子ども達にも気遣いをさせていただいております、大変ほほえましい風景だったなと思っております。

またラベンダーをはじめとして色とりどりのお花を地元の方々に植えていただいて、そういった花を素晴らしいというふうに、褒めていただいたところでもありました。

薄曇りではありましたが、洞爺湖の4つの中島もはっきりと見えまして、爽やかな気持ちの中で、一連の行事を締めくくることができたなというふうに思っております。

今回のサミットの開催を通じまして、いろんな面をアピールできたのかなと思っております。特に、直接お話をさせていただいた首脳のご夫人の方々あるいは、アウトリーチの皆様方などからは北海道の緑をはじめとする豊かな自然ということについて、言葉は違うのですが評価をいただいたこと、あるいは食については、文句なく皆さんに美味しいおいしいとおっしゃっていただいたことなど、大変に地元の知事としてうれしく思った次第であります。

今後は、このPR効果、たぶん金額換算、一度やってみますかね、どれくらいの評価になるかね。相当のPR効果はあると思っております。これを事後に何とか結びつけていかなければならないと思っております。

観光の振興、道産品の販売拡大、国際会議の招致などあらゆる形で、本道の活性化に結びつけていくように民間の皆様方と共に力を尽くしてまいりたいと思っております。

これが1件であります。

〔ポストサミットについて〕

二つ目は、今最後に申し上げたこととも絡まってくるんですが、ポスト北海道洞爺湖サミットの我々の継続的な活動についての今の思いについてであります。

今回のサミット開催に向けての準備は、民間の方々と道民会議を立ち上げて共にやってきたところであります。そういった中で、その活動を継続することによって、ポストサミットの中でも、北海道の価値を高めてい

くということをやっていききたいという思いを持っているところであります。

一つ目の視点は、コラボ北海道ということであります。まさに、道民の皆様方と協力をして、知恵を絞りながら民間、道民の方々、そして行政がコラボしながら新たな北海道づくりをしていきたいと。そういった気運の盛り上がりをさらに高めていきたいと思っております。

二点目は、国際的にアピールをしていこうということであります。直前の4日の閣議で閣議了解という形で、国際会議の誘致なども含めて政府の支援をいただけることになっておりますので、こういったことも最大限活用しながら、世界に向けた北海道の魅力を発信していきたいと思っております。

三つ目は、エコ北海道。4月に北海道環境宣言を出させていただきましたが、環境先進地、北海道をさらにアピールしていきたいと考えております。雪冷房をメディアセンターで実験をしたわけでありますけれども、それ以外にもヒートポンプなど北海道独自の技術、関連技術も含めて北海道の環境の取組について発信もしていきたいと思っております。

それから4点目は、北海道の観光を含めてしっかりと魅力あふれる北海道づくりを行い、それを発信するということを確立していきたいと思っております。先ほども申しましたとおり、北海道の食に対する評価が高まっております。また、緑を中心とした自然景観への評価も高まったと認識をいたしておりますので、こういったこと、あるいは環境ビジネスも含めて魅力あふれる北海道づくりを目指していきたいと思っております。

そして、道民会議の取組に関しいろいろな資金も集まっているわけでありますが、決算を遅くとも秋ぐらいまでにはいたした上で、お金が残ることがあるとすれば、それも活用しながら、これからの北海道の活性化に向けてどういう形でやるかということについても、経済界の皆様方との議論も深めながら、秋以降のこれからの我々の活動につなげていきたいと考えているところであります。

【記者からの質問】

(記者)

知事からいろいろご説明があったので大体わかるのですが、特にサミットの開催前に「おもてなしの心」ということを強くおっしゃっていたと思うのですが、各国の代表、ご夫人や関係者の方と出会う中で、知事が今ご紹介された中に含まれてもいいので、一番か二番、一つ二つですね、誰かからこんなことを言われたとか、ちょっと印象に残ったシーンやエピソードがあればお聞かせください。

(知事)

第一番はG8の方々と一緒にクリーンラチの植樹をさせていただいた時に、持ち時間1分といわれておりました。その1分の中で、つたない英語でありましたけれども、我々の道立試験場、北海道が開発したクリーンラチ、新しい種類の松。それが従来種よりも20%高いCO₂の吸収能力を有しているものである。そして我々がクリーンラチとネーミングをしたのは、グローバルウォーミングへの、地球温暖化問題への鍵となるような、そういった植物になって欲しいという思いを込めてクリーンラチと名付けた。世界のG8のリーダーの方々にはしっかりと気候変動問題について議論をしていただき、方向性を出していただくと同時に、この松の植樹をしていただくことは意義深いというようなご説明をしました。もちろんそれぞれからコメントをもらう時間はなかったのですが、大変に興味深く皆様方聞き入っていただきました。そのことがこの松を、この種類の植物を我々道立試験場が大変苦勞してここまで開発してきた経緯もありますし、我々北海道としてもこのクリーンラチをこれから広めていこうという思いを持っておりますので、このことが道知事として大変に嬉しく思った一つのエピソードでございます。

それから、いろいろ断片的にあるのですが、まとまった話としては、昨日アウトリーチの国々の方々をはじめとしてお招きして行われたレセプションの席で、一つは中国の胡錦濤主席が、大変に事前に北海道と中国との交流についてのレクチャーを受けられていられたこと、とても大変誠実なお人柄なのかなと感銘を受けたの

ですが、中国の北の方の地域と北海道がさまざまな交流を深めてきていることを大変嬉しく思っているということ、そして、日本と中国の交流がさらに深まることによって、北海道の人たちにとってもよりよい方向性が出てくるのではないかということをおっしゃっていただいたことはとても嬉しく思いました。

それと国連の事務総長さん、藩基文（パン・ギムン）さん。昨日午前中、北大でレクチャーをされた、そんなことも言及されながら、この気候変動、地球温暖化の中で北海道がいくつかの植物の生産という意味では適地になってきたというようなお話も受けたとご紹介をされまして、そうかと質問されました。私はそうであります。しかしながら一方で流水の話をはじめ、いくつか例をあげながら、この北海道でも気候変動の悪い影響も多く見受けられているところであり、我々北海道としてもこの問題に対して、国を上げて、あるいは世界を上げて対処することが重要であるということをし申し上げさせていただいて、国連の事務総長も大変北海道の食料の生産と気候変動の問題についても思いを深くしていただいたことも私は嬉しく思った次第であります。

おもてなしの心と直接つながるかわかりませんが、そういったことも含めてそれぞれは短い時間ではありましたが、それぞれの国のそれぞれの方々が北海道にいらっしゃる前にいろんな形で北海道のことを勉強させていただいてこの北海道にご訪問され、そしてこの北海道でいろんなことをご経験していただいたということ、それが今後の北海道の世界に対する発信に向けて大きく効果が出てくるのではないかなということは今思っている次第でございます。

(記 者)

関連でサミットなのですけれども、今回NGOの活動が非常に活発だったのですけれども、一連の動きというのを知事はどのようにご覧になっていたのか。札幌市は公共施設を貸し出したり、かなりやっていたのですけれどもその辺の評価を含めてお聞かせください。

2点目は同じくNGOなのですけれども、知事あてに提言というものが出されていると思います。この扱いについて協議の場を設けてもらいたいという声が出ているのですけれども今後どういうふうに対応されるのかをお願いします。

(知 事)

NGOの方々が去年のドイツのハイリゲンダムサミットの時のような大きな混乱もなく、粛々といろんな活動をされたということはとても嬉しく思っています。またいろいろな発信をそれぞれのお立場でされたということも、行政なり行政の関連の世界から来られた方々とはまた別の角度で北海道を見ていただいた方々の発信というものが、世界に広まるということも期待をするところでもあります。NGOに対しましては、北海道に対して今年はじめ洞爺湖畔になんとかこの宿営地の手当等をしてくれというお話をちょうだいして、地元の方々と議論をしながら、2カ所提供し、そこで宿営をしながらご活動を展開されたということでありまして、一部地元の方々との交流みたいなこともあったと聞いていて、良かったなと思っているところがございます。これから事後的にいろいろな情報が上がってくるとしますので、そういった中で我々として反省すべきこともあろうかと思いますが、今段階ではNGOの皆さま方ともいい関係でいろんなことができてきたのかなと思っています。

それから提言については、これから詳細を拝見させていただきながら、対応を検討していきたいと思っておりますので、協議の場を含めてこれからのことだと思っております。

(記 者)

サミットの関連で、食材に一次産業のPRということで、冒頭のお話でも非常においしいというPR効果があったというお話をいただきましたので、さきほど福田首相がチーズを食べておいしいとおっしゃられたということですが、他の首相ですとか首脳夫人から具体的なおいしいというようなエピソードがあればお聞かせいただきたいということと、もう1点ですが、食材の関係の課題として、私この問題非常に関心があり現地を取

材しております、課題として思ったのが、外務省の事務局側から発表された資料として、ものによっては産地表示されているものもあるのですが、例えば道産野菜と道産果物とか大まかな表記しかないような事実もありまして、IMCの中のレストランに提供された食材についても、非常に特徴ある品種であったり特徴ある生産方法であったりそういったものが提供されており、生産者の方々もそういったところに提供されるということで非常に期待をもってお話されている方もいたんですけども、ただIMCの中ではそういう表記が全くないというものも見られまして、そういった課題についてお考えがあればお話いただければと思います。

(知 事)

まず、個々の方々からの個々の食材についてのコメント、ここまでお話する時間はございませんでした。

私どもとしてはできる限り全道から、海のものも山のものも畑のものも田んぼのものも、いろんなもの、牧場のものも、取り寄せてということに配慮させていただきました。

ただ、首脳自身、それぞれのウインザーホテルなりルスツで何を使うかは外務省の仕切りの中でされました。その選択は国の責任においてやられたということだと思いますが、私ども地元としては全ての食材は、食材の宝庫、北海道でありますので、色々な機会を通じて、全道のさまざまな食材のPRをさせていただいたという経緯はあります。

それから表記ですが、47都道府県の中で圧倒的に広いのは北海道でありますので、国の立場からしますと、北海道のどこどこ産、我々道民から見ますと当たり前なのでしょう。新得のチーズと別海のチーズは当然違うということだと思うのですが、そこを大きくくりにやってしまったということはあるのでしょうか、これから我々としてサミットで使われた食材を、北海道を訪れられる国内外の観光客、あるいはビジネス客、いろいろな方へ発信するときには、今おっしゃられた「北海道内のどこどこ産」、さらにいえば生産に工夫があることなど、できる限りの情報を提供していくということが、その後の当該生産物の販売の拡大にも繋がっていくかと思えます。そういった工夫は、私ども自身が、これは私ども行政だけでなく生産者の方々、あるいは農業関係の団体の方々との意識を共有しながら、工夫を凝らしていきたいと、このように思っております。

(記 者)

サミットについて2点お伺いします。

まずは、アフターサミットの関連行事で、環境総合展ですとか、非常に評価をされた行事がいろいろありましたけれども、環境総合展など初めてして、来年以降も続けたいと現時点で思うようなことがありましたらお伺いしたいのと、もう1点、知事のご感想をお伺いしたいのですが、今回のサミットは成功だったと思うか、成功だと思うのでしたら、何をもって成功と判断するのかをお聞かせ下さい。

(知 事)

一つ目の環境総合展などの来年以降どうするかということについては私、冒頭で申し上げたとおり、我々行政だけでできることではありませんので、道民会議の皆様と議論を深めて来年度以降の戦略を練っていきたいと思います。

環境総合展初日に来られた日本経団連の御手洗会長は、ぜひこういったものを続けると良いですよ、と言っておられた経緯がございます。

ただこれは、多大な資金と労力と、そういったことが必要となりますので、民間の方々と議論を重ねた上で方向性を出していきたいと、このように思います。

それから、道民にとって成功かどうか。これはまさにこれから評価が出てくるところでありますので、冒頭で申しましたとおり、いろいろな交通規制等で住民の方々にご不便をお掛けしたところもありますし、一方で地元の方々は、子ども達の参加を含めて大いに盛り上がっているところもありますでしょうし、いろいろそれぞれのお立場がありますので、なかなか総括ということを今段階で申し上げるのは難しい部分がありますが、

私はまずは、つつがなくサミットが終わったということ、環境問題についても、前回サミットよりも一歩進んだ方向性ということが出たということなど、まずは成功ということの評価の第一歩ぐらいはクリアした段階にはあるのかなと、このように思っているところでございます。

これから重要なのは、まさにサミットが開催されたということを活用して、北海道自身がこの北海道の発信をさらに世界に対して高めていくかどうかという、我々自身の努力にかかっているのかなと。そういったことを含めて、初めて今回の北海道洞爺湖サミットが道民にとって成功したものと言えるのかどうかということが言えてくるのではないかと私自身思っております。

これは、サミット誘致を決めたときから私は申し上げておりました、経済効果とは別に、今の時代を生きる私たち、とりわけ北海道の子供たちにとって、この北海道で世界で主要な会合の一つであるサミットが、史上初の22カ国の参加を得て行われたということ、そういったことを踏まえて、これから国際的にはばたく子供たちもいるでしょうし、いろんな形でこれからの北海道を背負っていく子供たちが、サミットが我々のふるさと北海道で行われたということを噛みしめて、郷土に対する思いを深めてくれればと、というのは既に思っているところであります。その意味で、北海道の子供たちがいろいろな場面で参加してくる関連イベントも行われましたので、先ほど申し上げました、成功への第一歩へのクリアにはなっているのかなとそういうふうに思っております。